

M O T H E R T E R E S A

マザー・テレサと神の子 [新版]

小林正典 写真集



激務の合間をぬって手を差しのべるマザー・テレサ。(死を待つ人の家・カリガート)



2016年9月4日発行

定価本体 2,000円+税 B5判 96ページ

小林正典 (こばやし・まさのり)

1949年 京都市生まれ。フォトジャーナリスト。

1980-2000年 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と写真契約。

1982年 読売新聞写真大賞・報道部門一席
「マザー・テレサのレポート」。

1989年 ニューヨーク国際広告フェスティバル
「人権と平和推進部門」銅賞。

1994年 国連写真家賞受賞。

1997年 産経新聞児童出版文化賞推薦

「世界のお母さんマザー・テレサ」(ポプラ社)。

1999年 産経新聞児童出版文化賞推薦

「悪魔の兵器・地雷」(ポプラ社)。

主な著書・共著書

「マザー・テレサと神の子」(PHP研究所)。「難民・終りなき苦悩」(岩波書店)。「みなおなじ地球の子」(ポプラ社)。「国境を越える難民」(岩波書店)。「マザー・テレサ インドから世界へ」(大月書店)。

「対人地雷カンボジア」(毎日新聞社)。その他多数。

ご注文、
ご予約
受付中

注文
カード

書店名

帳合

部
数

冊

発行 ビレッジプレス (TEL&FAX 03-3928-7699)

著者 小林正典

写真集 マザー・テレサと神の子 [新版]

定価 本体 2,000円+税

ISBN978-4-89492-209-9

C0072 ¥2000E



9784894922099

M O T H E R T E R E S A

2016年9月4日

マザー・テレサがカトリック最高位、聖人に!!



旅から帰ったマザー・テレサがいつも真っ先に訪れるのが子どもの家。(シシュババン)

インドのスラムで、貧困にあえぎながらも助け合って生きる人々を支えたいと活動を始めたひとりの修道女は、社会の最底辺で生きる人々を「神の子」として慈しんだ。まっすぐ前を向いてつき進むエネルギーは、活動に参加したいという人々を引き寄せ、その活動を世界へと広げていった。20世紀の聖女と言われ、ノーベル平和賞など様々な賞を受けたマザー・テレサは、2016年9月4日、没後19年で、カトリック最高位の聖人に列を並べることになる。

2015年12月にマザー・テレサが聖

人として承認されたというニュースで、あらためて35年前に撮影した写真を見返してみた。なんと、被写体たちは撮影当時よりも強いインパクトで私に訴えかけてくる。もう一度、写真集「マザー・テレサと神の子」を出版し、新しい読者と共有したい思いが深まってくる。

この写真集は、1981年、1984年、1987年に撮影した写真で構成されている。31歳と若かった私が見た「人間マザー・テレサ」と活動を支えるたくさんの力の記録である。取材から

35年たっても、階段を足早におりてくるマザー・テレサとの初対面の様子やカルカッタでの当時の情景のすべてが鮮やかに脳裏に焼き付いている。この取材は、私にとって今でも特別心に残るものだ。(著者)

株式会社ビレッジプレス

<http://www.village-press.net/>
〒177-0051

東京都練馬区関町北 1-11-17
青島マンション 1F
TEL&FAX 03-3928-7699
info@village-press.net